



陵雲だより

学び合う子供の育成～豊かな心と規範意識を育みながら

旭川市立陵雲小学校



相手への思いやり

校長 川瀬 元信

台風の影響もあり、8月下旬は涼しく過ごしやすい日が続きました。

今年度の夏休みは（昨年度より3日間長い）33日間ありましたが、26日（月）始業式に、子供たちはとても元気な顔で登校してきました。

2学期始業式の校長の話で、初めにパリオリンピックで金メダルをとった旭川出身の北口榛花選手の紹介をした後、子供たちに次のお話をしました。



2学期は、「相手への思いやり」をもって毎日の学校生活を送りましょう。

自分のことばかりを考えたり、自分の思いだけを主張したりしては望ましい人と人との関わりをもつことができません。互いが相手の気持ちや立場を考え、思いやりの心をもって接するように、2学期は心掛けてください。具体的には、相手の立場を考えたり相手の気持ちを想像したりして、困っていたら励ましたり助けてあげたりすることです。困っている人がいたら、「何に困っているの」とか「いっしょにやろう」とか「なんとかなるよ」等の声掛けをしてあげてください。

また、手を差し伸べることだけではなく、時には相手のことを考えて温かく見守ることも親切な行為です。例えば、「同級生や下級生が鉄棒の逆上がりの練習をしていて、もう少しでできそうとき、手助けしてあげるより、見守ってあげるのは親切かもしれないですね。」、そして、できるようになったら一緒に喜んであげるのは相手への思いやりといえるでしょう。

2学期の学校生活においては、学校の人や友達など様々な人と関わり合いを多くもち、相手の立場を考えたり、相手の気持ちを思いやったりすることができるとよいです。

全校児童が、私の話を真剣に聞いていました。

その後、本校の伊藤生徒指導部長から、「相手意識をもって行動しよう」そのために、『5つの「あ」』の中の「あつまり」を全員で意識して取り組んでいきたいと思います、生活目標が示されました。

「相手意識をもって行動しよう」は、今年度の重点目標である「学び合い」の一つといえます。学校全体として行うことにより、陵雲小学校全体が、思いやりある温かい雰囲気のある学校になることを期待しています。



今年度のプールが終わりました！

6月から学校プールを開設し、全学年で体育の水泳授業を行いました。また、夏休み中もプールを開放し、延べ612人の子供たちが楽しく利用することができました。

プールを開設するに当たっては、水質管理や監視の仕事を引き受けてくれる方がいないとできません。今年度、陵雲小学校では、プールの開設中、朝夕の水質管理として広瀬さんにお世話になりました。夏休み中のプールの管理、監視員としては、岡音さんに御協力いただきました。お二人のおかげで子供たちの楽しみであるプールを十分に活用することができました。事故もなく無事にプールが終了でき、大変ありがたかったです。



CAPのワークショップがありました！

CAPとは、Child Assault Preventionの頭文字をとったもので、「子どもが暴力から自分を守るための人権プログラム」の意味です。

8月29日（木）に3年生の児童を対象にしたワークショップと保護者及び教職員を対象としたワークショップが行われました。3年生は学級ごとに授業時間に行いました。人間はどの人もみんな「安心して」（SASE）「自信をもって」（STRONG）「自由に」（FREE）生きるという大切な3つの権利をもっているのだということを3種類のロールプレイと話し合いで学びました。教職員と保護者のワークショップでは、CAPの暴力防止の考え方や子供ワークショップの内容、様子などの話がありました。子供たちが、自分の力を発揮し安心して生活していくために、家庭・地域・学校など子供の周りにいる大人たちが協力しあって、子供を支援することが大切であることを学び、有意義な時間となりました。



歩道の花壇が素敵です

陵雲小学校の南側バス通りに、末広中央第一町内会の方々が植えてくださった花壇があります。昨年も美しい花壇でしたが、今年は、8月にコキアが目がついて、さらに楽しく心とむものとなっています。地域の方々や子供たちにこのような環境を整えてくださり、大変ありがたく思います。是非、ご覧になってください。

